

# リチウムイオン電池からの火災にご注意！！

～ 誤った使用方法や廃棄による火災が増加しています ～

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリー、スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど幅広く使用されていますが、埼玉東部消防組合管内（加須市・久喜市・幸手市・白岡市・杉戸町・宮代町）において、リチウムイオン電池から出火する火災が発生しています。

## 【主な火災の発生状況】

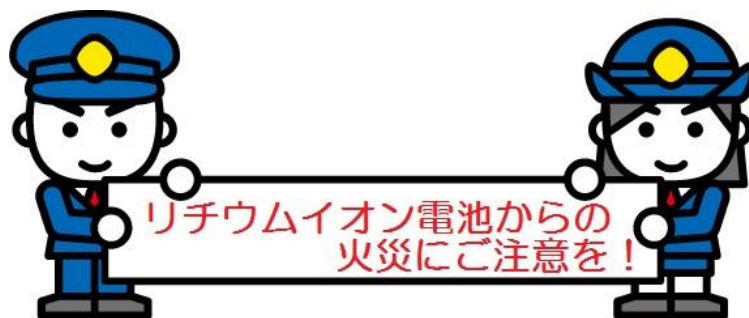
- 1 ごみ収集車で収集中に一般ごみと一緒に捨てられたリチウムイオン電池が押しつぶされて出火した。
- 2 専用（対応型）充電器を使用しなかったため、過充電となり出火した。
- 3 メーカーが製造・販売している純正品ではないバッテリー（非純正品バッテリー）を購入し、それを充電中に出火した。
- 4 リコール品とは知らずに、継続使用して出火した。

## 【火災を防ぐために】

- 1 機器購入時に付属されているメーカー指定の充電器やバッテリー（純正品）を使用しましょう（互換品を使用しない。）。
- 2 接続部が合致するからといって、充電電圧を確認せずに、他の充電器を使用するのはやめましょう。
- 3 膨張、異音、異臭などの異常が発生したものを使用するのはやめましょう。
- 4 廃棄の際は事業団体が回収するリサイクルへ出しましょう。

## 【万が一発火した時には】

充電式電池から火花が飛び散っている時には近寄らず、火花が収まってから消火器で消火し、消防署に119番通報してください。



●火災事例 「ごみ収集中のごみ収集車から出火した火災」

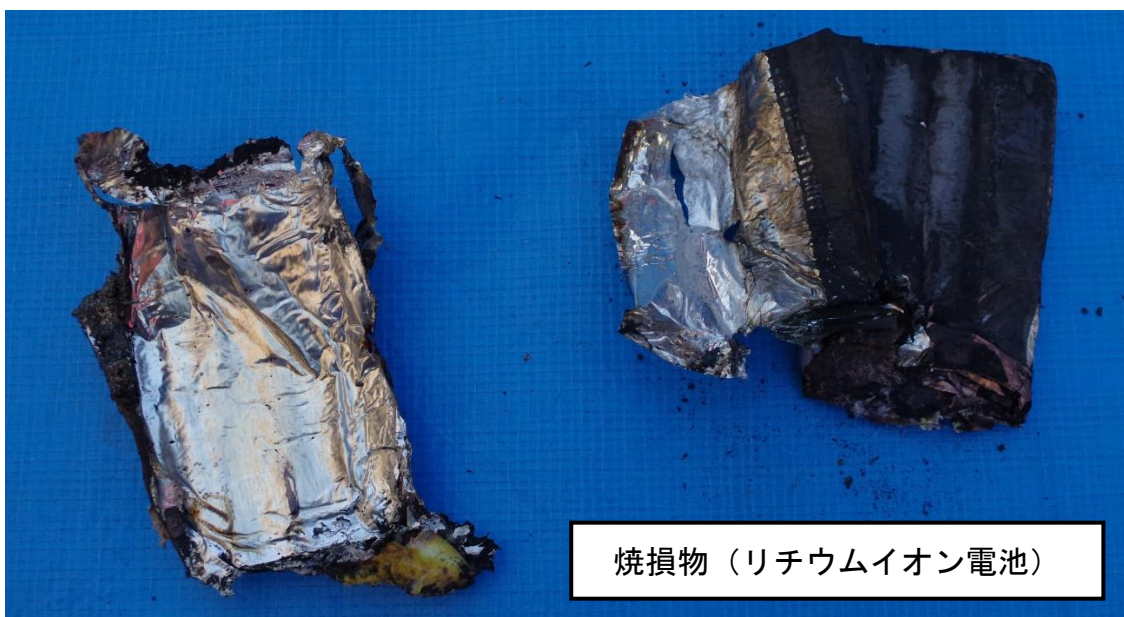
(令和4年11月9時頃 ごみ収集車 負傷者なし)

この火災は、道路上で可燃ごみ収集中のごみ収集車荷箱内で、可燃ごみとして捨てられたリチウムイオンバッテリーが外力を受けて押しつぶされたため、バッテリー内部が短絡し出火したものです。

なお、清掃センター職員は、収集作業中に車両後方から白い煙が出ていたため荷箱内を確認すると、中から煙が出ているのを発見したものです。

【教訓】 リチウムイオン電池などの充電式電池を捨てる際は、市町の分別回収方法をご確認いただくか、家電量販店などのリサイクル協力店にお持ちください。

なお、リサイクル協力店と回収方法の最新情報は、「[一般社団法人 J BRC](#)」のホームページから確認することができます。



【問合せ先】 消防局予防課 電話 0480-21-1014